

消費税
10%増税
9条改憲
加計かくし
許せない!



日本共産党

田中かつひこで

安倍政権に痛打を

安倍政権と真っ向対決

「市民+野党」共闘広げる議席



自民党県議は「憲法9条改正へのご所見を」と質問であり、伊方原発再稼働も後押し。

田中県議は、原発再稼働許さない議会での論戦や消費税10%増税中止へ請願採択を求めるなど県民の思いにこたえ奮闘。

また、野党共闘前進へ、合同宣伝、安保法制廃止を求める意見書など県議会に提案。これからさらに「本気の共闘」へ力をつくします。

請願に対する態度 (○は賛成 ×は反対)

	共産	自民	自民志士	維新	公明	社民	民主連合	市民の窓
2019年10月の消費税増税中止を求めることについて	○	×	×	×	○	○	○	○
伊方3号機を再稼働させず、廃炉に向かわせることについて	○	×	×	×	○	×	○	○
子ども医療費助成拡充を求めることについて	○	×	×	×	○	×	○	○
大学生への給付型奨学金制度の早急な拡充を求めることについて	○	×	×	×	○	○	○	○

説明つくさない 加計学園への補助金支出は凍結を!

県議会でのチェック役

2月議会にも10億円計上

許されない 首相の国政私物化、加計問題、県議会のチェック機能が問われています

ウソや隠ぺい、改ざんなど許されません。安倍首相による国政私物化疑惑も解明されないまま。国も加計学園も説明責任をはたしておらず、県民も納得していません。

2月県議会には、加計学園への2回目の補助金支出、10億円が計上(昨年、約14億円を支出)されています。

メディアも注目! 田中県議の論戦

補助金は撤回、凍結し、説明責任はたさせよう

田中県議は、大学獣医学部も視察し、学者・研究者からも今後の獣医学教育の在り方も聴取。認可にいたるまでの問題点や教育の質に関わる問題も具体的に指摘。マスコミも注目しました。

10億円の補助金支出は撤回、凍結を求めましょう。

議案に対する態度 (○は賛成 ×は反対)

	共産	自民	自民志士	維新	公明	社民	民主連合	市民の窓
とべ動物園入園料などを値上げする手数料値上げ条例	×	○	○	○	○	○	○	×
2017年度2月補正予算 加計学園への補助金支出	×	○	○	○	○	○	△*	×

*2人のうち1人が反対

自民会派分裂で海外視察が増

会派分裂後の代表者会議でみずから確認していた「年2回まで」の申し合わせまで解消し、2017年度は年3回も。計1672万円!

会派名	人数	行き先	費用(決算ベース)
自民	6人	ニュージーランド 2018/1/8~1週間	484万円
自民志士	6人	オーストラリア 2018/1/7~1週間	585万円



*ほか公明、社民、民進で北欧に2017年5月14日から1週間。

県民の願い大切に 政治動かす議席

ブラック企業など— 「放置してはならない」— 答弁引き出す

ブラックな働かせ方の改善を求めた田中県議。県は「放置してはならない」と答弁。

その後も、県内主要大学でブラックバイトに関する講座開催や国と連携した学内での相談会などへ前進。全国でも数少ない大学生へのアルバイト調査も国に実施させました。

子どもの貧困実態調査に踏み出す

来年度予算案が発表され「子ども愛顔応援推進事業」として、子どもの生活実態調査がおこなわれることに。田中県議は、一般質問でも調査の実施を迫ってきました。具体的な実態つかみ実効性あるものへ、力をつくします。

教職員の長時間労働是正など 議会をリードし、国への意見書採択に

少数会派でも、一歩でも二歩でも前向きな変化をつくるため、自民党とも渡り合い、ブラック企業への指導監督の強化や、教職員の体制充実・長時間労働解消など、国に求める意見書に実りました。

また、「すべての子どもを対象に中学校卒業まで」と明記した医療費助成制度拡充を国に求める意見書も全会一致で可決しています。

訪問いただく議員、ありがたい

妊娠22週から出生後7日未満をさす周産期医療。小児科医不足などが言われるなか大学病院などで事情聞き、周産期医療体制充実を質問。担当教授から「訪問いただく議員がいてありがたい」。

県内の特別支援学校にエアコン設置

県内各地の特別支援学校を訪問し、教室不足、エアコン設置、寄宿舎や校舎の改善など意見交換。質問や要望で取り上げ、全教室にエアコンが設置されました。